

総務
部長が

先輩職員にインタビュー（第1回）

広島国税局の総務部長が、採用されてから10年目までの国税専門官採用者に、採用時のことについてインタビューしました。

先輩職員は中堅職員として国税局の運営に携わっている人、調査や徴収で活躍している人、子育てに奮闘している人など色々頑張っている人達です！



Q 国税専門官を選んだ理由を教えてください



総務部長

私は女性ですので、育児環境が整っている公務員は魅力的でしたね。

あと、大学の公務員講座の先生が国税専門官を強く勧めてくれたので、良い印象を持ったというのも理由の一つかもしれません。

良い先生ですね～（笑）

私も、その先生に「国税専門官に向いているよ」と言われました（笑）もしかして、皆に言っているのかも（笑）



Q 転勤は国税専門官を選ぶ際のネックになりますか？



採用される前は国税専門官は転勤が多い職場と聞いていたので、少し不安もありました。実際に西郷税務署（島根県隠岐の島町）に勤務したこともあります。とても楽しかったですね。

転勤は大変なこともあるけれど、知らない土地と人に出会うことは、自分自身の成長にも繋がるし、楽しみでもありますよね。私も転勤は結構楽しみなんです（笑）



Q 広島国税局に採用されてからギャップはありましたか？

私は文学部出身なので、同じ学部の人はいないのかなと思っていましたが、結構いました。

そうだね。思ったより色々な学部の人がいるよね。

あと、採用されるまでは、数字に強くないといけなかったかなと思っていましたが、研修でしっかり学べるので何とかなりました。

なので、どんな学部の人でも、あまり心配しなくても良いのかなと思います。

申告書はシステムで作成しますしね（笑）



専門職だというのは魅力ですね。地方公務員などは、多くの部署を異動すると聞いてますし、育児休業明けに職場に復帰したとしても、育児休業前にやっていた仕事をするからプレッシャーは少ないかもしれません。



確かに専門性の高さは魅力ですね。



私は、徴収の仕事をしているのですが、法学部で学んだ民法などを活かしているのではないかと思います。大学で学んだことは無駄じゃないんだと。



私は、調査課で大規模法人の調査をしています。そういった大企業の幹部の方と私のようなまだ経験の浅い者が対等に話せることにやりがいを感じます。



最後までご覧いただき、ありがとうございます。

先輩職員にインタビュー（第2回・第3回）もぜひご覧ください。

